

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス フローレットキッズ		
○保護者評価実施期間	令和7年9月1日	～	令和7年9月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	令和7年9月1日	～	令和7年9月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年10月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	①令和7年4月に事業所を移転したことで、以前の事業所より活動スペースは狭くなったが、1階はバリアフリーのワンフロアと2階の個室を使用し工夫しながら支援している ②完全個室の更衣スペースの確保が出来ている	①1階では死角が少なく全体を見渡せる。また玩具棚や荷物棚の設置を行い整理整頓をしやすくしている ・2階は静かな環境で宿題・課題を集中しやすくしており、同室をカームダウン室として使用するときはロールスクリーンで外や別室から見えないようにしている ②衣服の着替えや脱いだ服をたたむ意識を高めている	①専用棚を設置することで「あったところに片付ける」スキルを身に付けること ②衣服を畳む意識を高めてもらうことと、棚や着替え袋にきちんと直すところまで出来るように、指導員が出来る限りマンツーマンで指導して行くようにする
2	①近隣の公園へ徒歩で行けるので外での活動を積極的に取り入れやすくなった ②日常生活に必要な課題や支援を日替わりで取り組んでいる	①基礎体力作りを兼ねて歩行時の交通ルールの理解やマナーの習得を同時におこなっている。 (車道にはみ出さず1列や2列で歩く・歩行時や遊具付近で急に大きな声を出さないなどを促しを行っている) ②調理実習・食器洗い・掃除機かけ・レジでの支払いなどを通じて自分のことは自分で出来る力をつけてもらえる課題を提供している	①第三者へ急に話しかけたり、他人に迷惑を掛けないように事前に促すなどの支援を図る ・野外では室内で見られない児童の個々の特性などの見極めを図っていく ②家庭でも普段から取り組める様な課題や支援方法を検討しホームページや機関誌で発信していけるようにする
3	指導員間で日々の業務連絡を密に行っている	・児童のちょっとした日々の変化やヒヤリハット事項があった場合、個別支援日報やヒヤリハット報告書への記入を徹底し共有している ・送迎時や連絡帳での保護者からの申し送りの、必ず報告し合い共有するようにしている	・送迎で不在の職員や非常勤職員などへの伝言が遅れる場合があるので、その都度グループラインなどのツールを使い全員周知徹底を目指したい

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地元・地域交流の実施が難しい	①事業所周辺は住宅地であることから、地元との交流の機会を持つことが難しく、自治会のイベントや行事があったとしても事業所の休所日と重なり児童を参加させることが難しい ②現状としては食事提供を行っている就労支援事業所から購入する程度である	・事業所を開放したイベント等の検討が必要と考えているが、事業所のスペースや児童の個々の障害特性を踏まえてどの程度の事が出来るかの検討が必要。また可能であれば近隣住民へ読み聞かせなどのボランティア公募し、事業所の特性や性質を知って貰う試みをおこなう
2	男児の利用割合が多く、男性指導員が1人しか居ないときにトイレや身体介助が必要な児童に対し指導員が限られてしまう	・男性指導員が送迎で不在の時に、男児の介助が出来ない事がある ・トイレ以外にも全般的な介助支援の方法が統一出来ていない場面が見られるときがある	・常勤・非常勤に係わらず、介助方法統一のための勉強会を定期的実施する事で、統一した介助や介護が出来るよう共有する
3	土曜日を休所にしたことで、イベント実施機会が減ってしまい、長期休暇期間や祝日に集中してしまう。また祝日が月曜日に集中しがちになり満遍なく児童を参加させ辛い	・現状の日中プログラムの内容や時間配分、各学校の下课時刻の誤差及び個別課題で時間を要する児童が複数居ることで、全員揃って行うことが難しい日がある	・平日のみの営業となり、日中のプログラムがマンネリ化していることもあり、日々のプログラムの見直しと、月のうち1週間に「イベント週間」として1時間程度でできる「プチイベント」の計画・実施を試みる ・日々の集団活動「みんなde活動」の(15分程度)充実化を図る

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス フローレットキッズ

公表日 令和7年10月20日

利用児童数 19 配布数：16

回収数 10

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	4	5	0	1		以前に比べると活動スペースは狭くはなったが、公園や散歩を取り入れストレスにならないよう心掛けている
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	9	0	0	1		定められた人員は配置するようにしています
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8	2	0	0		1階はバリアフリーになり、情報伝達はホワイトボードを使った視覚化と早目の声掛けで行動の認識をしてもらっている
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	8	2	0	0		毎日の清掃と消毒の実施と定期的に玩具等の入れ替えをしています。また児童に見えやすい棚を設置しています
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10	0	0	0		保護者とのアセスメントで特性に応じた内容を話し合い最善の方法を検討するようにしています
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10	0	0	0		支援プログラムに沿って、その児童にあった支援を心掛けています
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	10	0	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10	0	0	0		本人支援は支援検討会議で随時検討し、家族支援や移行支援については、ニーズがあれば速やかに対応するようにしています。また現状必要と思われる内容は統一した記載を行っています
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10	0	0	0		個別支援計画をベースとして、それに基づいた様々なアプローチを心掛けています
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10	0	0	0		個別と集団プログラムが固定化しないように心掛け、特に集団プログラムは日々検討し提供しています
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	/	/	/	/		公園で一般児童と一緒に遊ぶ機会がある程度で、交流自体は行えておらず、どのような形で交流できるか検討中です
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10	0	0	0		契約面談時に必ず書面に基づいて説明させていただいています
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10	0	0	0		契約面談時に必ず書類作成と口頭でも説明させていただいています
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	/	/	/	/		事業所では実施していませんが、外部の研修会などのお知らせがあればこれらもチラシなどで発信してまいります
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	10	0	0	0		送迎時や連絡帳での申し送りや継続面談で話し合い理解し合えるように心掛けています
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10	0	0	0		継続面談通じ、ご相談があれば助言等させていただき、電話でのご相談にも随時対応させていただきます
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10	0	0	0		職員全員が連絡帳及び送迎時に保護者にお伝えや傾聴を心掛けています
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	/	/	/	/		保護者会などは行っていませんが、普段から事業所にご家族が（保護者・きょうだい）来所されたてもOKとしています
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10	0	0	0		ご相談内容によって情報の提供を行うようにし、必要に応じ関係機関と連携を取りなが解決に向けて対応しています	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10	0	0	0	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	10	0	0	0	機関紙を毎月発行し、不定期なれどホームページで活動内容を発信しています
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10	0	0	0	契約面談時個人情報取扱いについての説明を行い、全職員に情報漏洩防止の誓約書を提出してもらっている
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	0	0	0	マニュアルの整備はしていますが、完全な周知は出来ていないので、今後ホームページでの掲載を行います
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10	0	0	0	毎月災害に関する訓練を実施しています。年1回の消防立会訓練や広域避難訓練も実施しています
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10	0	0	0	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10	0	0	0	事故等が発生した場合は速やかに対応と保護者への連絡を心掛けています
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	9	1	0	0	今後も不安要素がなくなる様に寄り添えるように心がけていきます
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	9	1	0	0	皆が笑顔で帰宅できるように職員一同努めています
	29	事業所の支援に満足していますか。	10	0	0	0	これからも臆らず真摯に支援していきたいと思っています

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス フローレットキッズ				公表日	令和7年10月20日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	状況によって1階の訓練室をロールスクリーンで区切ったり2階の個室を利用しています	ワンフロアであるので定員満員の時は行動範囲が狭くなるので公園外出などを取り入れていく	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0	日々常勤4名(うち指導員3名)と非常勤指導員1~2名を基本的人員配置としている	職員の急な欠勤などある時に補充が難しい事がある	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0	施設内はバリアフリー化。必要力所に手摺やコーナガードを設置し。情報伝達はホワイトボードでスケジュールの視覚化など提示しています	コーナガードを剥き異食する児童がいるので代わりになるものを設置の検討中	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0	毎日の清掃と玩具や常備品に不備がないかの定期チェックを行っている 定期換気や加湿器の設置を行っている	横に狭く縦に広い空間なので、テーブルを設置すると動きにくくなるのが課題	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0	カームダウン室として2階の学習室(個室)を使っているまた、静養室は2階事務所に専用のベッドを常設している	個別の部屋が2階と言う事もあり見守りの職員必要になるときの対策	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	0	業務に関しては月1回の職員会議で問題点や改善点の意見を求め周知するようにしています	PDCAサイクルの書き設定が今後の課題	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1	アンケートや意見に対して迅速に対応させていただいています	全ての対応は難しい点もあるが可能な範囲で対応できるように今後も検討をしていきます	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	日々児童が登所するまでの時間を利用しミーティングを行うようにし、全員気軽に意見を出し合えるよう努めています		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	3	昨年度までは育成事業にアドバイスをもらっていたが、今年度は参加せずである。また、第三者の外部評価はおこなっていない	育成事業では事業運営に関しての相談が多かったか事で、指導員に対しての報告が出来ていなかった	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	内部研修は講師担当を決め、テーマに沿った研修を実施。外部研修(zoom)を受けた際は会議や書類で報告している	外部研修に参加する職員が限られているので、満遍なく職員が外部研修に参加できる環境を整えていきたい	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0	事業所として行える内容を作成し、堺市のホームページ及び事業所のホームページに公表。また事業所玄関に掲示している		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	0	継続面談やモニタリングを通じ情報収集とニーズの確認を行っている	保護者からのニーズが無い時もあり、困りごとを聞き出すなど、どのように設定するか難しい場面が課題である	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	毎月中間評価で振り返りと次への課題を話し合い、アセスメント内容と合わせて支援計画検討会議にて方向を決定している	約半年間の期間中、成長と共に対象児童の課題が急激に変化した時の対応が難しい時がある	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	支援計画など鍵付きの欄に保管し確認が必要な時に確認できるようにし、個別支援日報を確認してもらい支援内容が逸脱しないようにしている		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0	各児童の特徴等の一覧表を作成し職員へ配布。支援日報にも現状の計画を記入することで意識して支援できるようにしている。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	保護者の意向や相談支援からの計画書を参考にしながら、当事業所で可能な支援方法で作成している		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	月間行事は常勤指導員で決めているが、日々の活動は非常勤指導員も含め全員で考えている		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	毎日違うプログラムを「みんなde活動」とし実施している。個別課題についても児童に合った課題の提供をしている		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	0	毎日「みんなde活動」とし全員で同じ取り組みを実施している。個別課題についても児童に合った課題の提供をしている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	日々送迎前のミーティングや打ち合わせを行い活動内容等の確認をしている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	2	気付いた点や申し送り事項は報告し合い共有するようにしている	勤務時間の都合上全員で行うのは難しい(次の日に内容の報告や確認を心掛けている)
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	個別支援日報を毎日児童が降所してから記入している。申し送り記入表を作り記入してもらっている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	半年に1度支援計画の見直しを中間評価とし話し合い保護者との面談も実施し支援計画検討会議を実施している	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	3	1	活動に偏りが出ないように個々の特性を踏まえ組み合わせながら支援している	内容を理解できていない新人指導員にガイドラインの理解を促して行きます
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	0	その児童に適した方法(視覚支援等)で選択する「自己決定」の方法を検討しを促すようにしている	児童の答えを待たずに指導員が決定し提供してしまう事もあるので改善していきます
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	1	基本「児発管」が出席し、報告書を作成し会議で周知している	支援中に会議があることが多いので現場の指導員が参加しにくいのが課題
	27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0	主治医からの指示などは保護者を介して確認し、関係機関とは必要に応じて情報交換を行っている	
	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	4	0	新規入校する学校へは事業所からの挨拶文をお渡ししています。またお迎え時に先生へその日の様子を聞き取りしています	原則は保護者を介しての連絡となっているが学校によっては個人情報とのことで連携しにくい学校もある
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	2	児童発達支援事業所を利用して児童に関しては、必要に応じ情報交換をしています	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	0	移行先より依頼があれば情報の共有と提供をしている	見学や研修などで連携をしていきたい
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	1	必要に応じて相談させてもらったり助言を受けている	外部研修の依頼の検討をえている
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	2	交流については実施できておらず、公園などで出会った地域の児童と遊ぶ機会はある	どのような形で関わるができるか、今後の課題である
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	0	4	現状直接的な関わりはない	開催情報があっても時間が合わない事が多い
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	1	送迎時や面談や連絡帳でのやり取りをしています	連絡が取りにくい保護者への共有が難しいことがある
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	0	当事業所では実施しておらず、外部からのチラシ等を配布はしています。また事業所の行事によっては家族参加も促しています	外部の研修会などのお知らせがあればこれからもチラシなどで積極的に発信してまいります
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	契約時に必ず説明しています。またご質問頂ければ説明しています	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	継続面談において話し合いを通じどのようにしていくか確認するようにしています	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	0	面談でニーズの確認と、次回の支援内容の方向性を説明しながら書面作成し同意を得るようにしています	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	連絡帳や電話での相談に応じ、必要であればその都度迅速に面談や家庭訪問も行っています	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。			保護者会などの活動は実施しておらず、普段からご家族（保護者やきょうだい）が遊びに来ていただいてもOKとしています	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	苦情窓口を設置しており、迅速に対応をさせて頂くよう心掛け、内容は書面記入し全職員に周知している	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	0	毎月の機関紙の発行と不定期であるが活動内容をホームページで発信している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	個人情報に関する書類は鍵付き書庫に保管しており、職員に対しても個人情報漏洩防止の誓約書を提出して貰っている	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	難しい部分がある時は、保護者に確認しながら対象児童に配慮できるよう心掛けている	保護者でも不明な時があり、相談しながら進めることもある
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	3	現状計画には至っておらず、取り組めていない	事業所のスペースや児童の特性を考慮しながら、取り組みが可能なイベントを検討していく
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0	家庭への周知は出来ていないが、各マニュアルの策定は行っており、必要に応じて定期的に訓練や研修を実施している	今後各マニュアルなど、ホームページへ掲載する計画をしている
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	BCPの策定と見直しを行い、毎月の避難訓練と年2回の消防署へ届を出し訓練等行っています（通報訓練と立会訓練）	海から近い立地であり、移転後大津波警報発令時の避難訓練を実施できておらず、検討と実施を年度内で行う予定
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4	0	契約時や面談時に確認をし一覧表を作成し全職員が確認し周知し、薬情に変更があればその都度提出して頂いています	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0	保護者を通して主治医と連携している。おやつや調理実習時にはアレルギーの排除に気を付けている	アレルギーの種類が増えていることから、再度研修で症状や対応について研修が必要
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0	安全点検を実施し、年2回の研修と必要に応じ訓練をしています	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0	緊急時の連絡先を把握し保護者に連絡出来るようにしています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	発生時は関わった職員が書類の作成を行い、全体で共有し再発防止に向けて話し合っている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	年2回の研修を実施し、虐待防止に努めています（虐待防止、身体拘束防止、人権擁護などの研修を実施している）	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	0	面談時に必要とされる場合の状況・対応方法を説明しており、検討の結果やむを得ず必要な場合は同意を得て個別支援計画に記載。		